

世界情勢を見据えた対策とグローバル広報

ークロスボーダーM&Aについて講演会を実施ー

2023年2月14日

基調講演「クロスボーダーM&Aにおける留意点とグローバル広報の役割」

講師：マーク・マコール F T I コンサルティング ストラテジック・コミュニケーション部門
グローバル・セグメント・リーダー

講演「日本企業のグローバル進出における危機管理とグローバル広報の役割」

講師：鈴木 優 T M I 総合法律事務所 パートナー（弁護士）

経済広報センターは2月14日、「世界情勢を見据えた危機管理、M&Aの動向とグローバル広報のあり方」と題する講演会を開催した。企業の幹部ら約50人が参加した。

まず、F T I コンサルティングのストラテジック・コミュニケーション部門でグローバル活動を統括するマーク・マコール氏が講演。世界的動向でM&Aが進むなか、日々変化する金融・規制環境を乗り切りリスクを軽減するために、企業は主要なステークホルダーや影響力のある人々をうまく巻き込んでいく必要が増していると述べた。また、アクティビズムについて、米国ではE S G（環境・社会・ガバナンス）対応で企業が責任を問われるようになったため、あまり触れられなくなった一方、欧州やアジアでは、依然としてE S Gに対する関心が高いと指摘した。

続いて、T M I 総合法律事務所の鈴木優弁護士が登壇。日本企業がグローバルにM&Aを展開するにあたり、地政学リスクやその影響で予測されるさまざまな規制の運用の動向について、徹底的に事前調査することが重要であると強調した。また、世界情勢の変化を投資環境の変化ととらえ、対応策を練る必要があると説明した。

講演後、パネルディスカッションを行った。リスク管理においては、仮説に基づいて、リスクを予測し、備えることが重要であり、刻々と変化するリスクに対し、不断の分析が不可欠との意見が出された。また、広報の役割として、事業展開の方向性や将来像を正確に理解したうえで、会社の事業戦略をサポートする発信が重要であるといった指摘がなされるなど、企業幹部と積極的な意見交換ができた。

以上

一般財団法人

経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。